備後・安芸圏域留学生就職・定着促進教育プログラム
― 留学生の学びとキャリア形成を支援 ―

プログラムについて

福山大学では、文部科学省の「留学生就職促進教育プログラム」に基づき、同省の認可を受けて「備後・安芸圏域留学生就職・定着促進教育プログラム」を実施しています。本プログラムでは、日本での就職を希望する外国人留学生を対象に、日本語能力の向上、キャリア形成、企業との交流、インターンシップなどを通じて、地域での就職・定着を支援するとともに、就職後も大学と企業が一体となって、地元に就職した元留学生を支援します。

これまでの取り組みと成果

本プログラムは昨年度からスタートし、昨年度は６名の留学生が参加しました。参加者のうち５名が日本学生支援機構（JASSO）の成績評価（3 点満点）で 2.3 点以上を取得し、３名が日本語能力試験（JLPT）N1 に挑戦するなど、学習や日本での就職に向けた意識の向上が見られました。

また、企業との交流会や就職に関する説明会、OB・OG との交流、インターンシップなど、就職につながるさまざまな具体的な機会を設けています。

今年度の取り組み

今年度は、新たに 15 名が加わり、継続参加者を含めて 18 名の留学生が本プログラムに参加しています。参加学生は、JASSO の奨学金の特別枠（18 名中 13 名）による支援やその他の奨学金を受けながら、授業や日本語学習に取り組むとともに、将来の日本での就職を見据え、学習やキャリア形成に積極的に取り組んでいます。

今年度は、３名のプログラム参加学生が備後地域の企業でインターンシップを経験しました。実際の職場で業務を体験することで、日本の職場環境や企業文化について理解を深めるとともに、自身のキャリアについて考える貴重な機会となりました。今回インターンシップに参加した３名は、今年度末をもって本プログラムを修了する予定です。**本年度は、本プログラム開始後、初めて修了者を送り出す年度となります。**

３名はそれぞれの進路実現に向けて、これまでの学習や企業との交流、インターンシップなどで得た経験を生かしながら、卒業後のキャリアに向けた準備を進めています。なお、今回のインターンシップに参加した学生の体験については、以下の体験記で紹介しています。（リンクを貼る予定）

今後の支援

福山大学は、留学生が日本で学んだ経験を生かして地域社会で活躍し、卒業後も地域とのつながりを持ちながらキャリアを築いていけるよう、今後も支援を続けていきます。

「学ぶ」ことから「働く」こと、そして「地域で暮らし続ける」ことへ。

文責：伊丹　利明　国際センター長

2026 年 9 月